

項目別評価 総括表

公立大学法人福島県立医科大学

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
第1	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	18	B	100	C	8	D	0	II	
		年度計画どおり概ね順調に実施した。									
1	教育に関する目標を達成するための措置	A	12	B	41	C	5	D	0	II	
		年度計画どおり概ね順調に実施した。									
(1)	教育の成果に関する目標を達成するための措置	A	3	B	14	C	1	D	0	II	<p>中期目標の数値目標(国家試験の合格率)について、医師国家試験、保健師国家試験では数値目標を達成したことについて評価できる。看護師国家試験では数値目標にわずかに及ばなかった。</p> <p>医師 実績97.5%、合格77/受験79名 (目標 95%、全国91.0%)</p> <p>保健師 実績98.8% 合格82/受験83名 (目標 95%、全国97.7%)</p> <p>看護師 実績98.7% 合格76/受験77名 (目標100%、全国89.9%)</p>
		<p>年度計画どおり概ね順調に実施した。</p> <p>学士課程においては、「早期ポリクリ」(第1学年)などにおいて、医療現場に早期から立ち会う機会を与えることにより、必要とされるコミュニケーション能力の育成を図るとともに、実習後に学生及び各診療科の指導教員から、感想や改善点等を聴取し、今後の実施に役立てた。さらに、「医療実習入門」(第4学年)において、相手心理の洞察法等具体的なコミュニケーション法の習得などに努めた。</p> <p>大学院課程においては、医学研究科に新設した「医科学研究入門」や「大学院セミナー」において、外部講師として各界で活躍している研究者を招聘し、先端的な研究法と知識の獲得などに努めた。</p>									
(2)	教育内容等に関する目標を達成するための措置	A	8	B	16	C	2	D	0	II	<p>医学部の定員増について、5名の増員により、平成21年4月から100名にするとともに、入学定員増に伴い推薦入試枠を25名以内から30名以内に増員し、県内枠(23名程度)、県外枠(7名程度)を設け、入学試験を実施したことについて評価できる。</p>
		<p>年度計画どおり概ね順調に実施した。</p> <p>学士課程においては、総合科学教育研究センターを新たに設置し、生命科学・社会医学、臨床医学、看護学と融合した総合教育科目を実施するための方策を検討するなど教育内容の充実に努めた。</p> <p>大学院課程においては、医学研究科、看護学研究科にて学位審査に係る不正行為等の防止及び適切な対応を図るための通報・相談窓口の明確化を図った。</p>									

項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
(3)	教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置	A	1	B	6	C	0	D	0	II	教育に必要な施設を充実させるため、医学部総合科学研究棟、看護学部棟及び手術部に、スキル・ラボラトリー(実践的臨床教育訓練室)を設置したことについて評価できる。
		年度計画どおり順調に実施した。 20年度に設置した医療人育成・支援センターにおいて、FD(教員能力開発)講習会を開催するなど教育指導能力の育成に努めた。									
(4)	学生への支援に関する目標を達成するための措置	A	0	B	5	C	2	D	0	II	
		年度計画を概ね実施した。 医学部定員増に伴い、個々の学生に対して教員の目が届きにくくなったことから、問題や悩みを抱えた学生を早期に発見し、サポートできるよう、21年度から、第1・2学年において担任制を導入することとした。									
2	研究に関する目標を達成するための措置	A	0	B	17	C	1	D	0	II	
		年度計画を概ね実施した。									
(1)	研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置	A	0	B	9	C	1	D	0	II	NEDO(新エネルギー産業技術総合開発機構)の公募事業を活用して、トランスレーショナル・リサーチ・センター(大学の基礎的研究成果を附属病院において臨床応用するための体制)を平成20年4月に設置し、乳がんを始めとして、肺がんなどの様々な種類のがん組織検体の採取を行ったことについて評価できる。
		年度計画を概ね実施した。 社団法人JBIC(バイオ産業情報化コンソーシアム)と共同でNEDO(新エネルギー産業技術総合開発機構)の公募研究事業に提案した遺伝子発現解析における個別がん医療に関する研究を引き続き支援するなど、トランスレーショナル・リサーチ・センターを中心に共同研究の推進に努めた。									

項目別評価 総括表

公立大学法人福島県立医科大学

評価項目			公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
			計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
	(2)	研究実施体制等の整備に関する目標を達成するための措置	A	0	B	8	C	0	D	0	II	
			年度計画どおり概ね順調に実施した。 科学研究費補助金の採択に携わった方や、採択率を向上させた実績を持つ他大学の関係者等を招聘し、「科学研究費補助金の申請に係る講演会」を開催するなど外部資金獲得のための環境の整備に努めた。									
	3	地域貢献に関する目標を達成するための措置	A	0	B	18	C	0	D	0	II	
			年度計画どおり概ね順調に実施した。									
	(1)	教育研究における地域社会や県政との連携・協力に関する具体的方策	A	0	B	6	C	0	D	0	II	
			年度計画どおり概ね順調に実施した。 「衛生学・公衆衛生学実習」やBSLアドバンスコース地域医療コースにおいて、「地域住民参加型実習」を実施するなど地域との連携・協力を推進した。									
	(2)	地域医療の支援に関する具体的方策	A	0	B	5	C	0	D	0	II	地域の医師不足解消のため、地域医療支援担当教員15名、公的病院支援担当教員33名、政策医療等支援教員20名により、地域医療の支援を行ったことについて評価できる。
			年度計画どおり概ね順調に実施した。 医師確保支援システムの中核として、医学部地域医療支援センターを運営し、地域医療機関からの要望に対する大学からの医師派遣を一元的に対応した。また、地域医療支援担当教員15名、公的病院支援担当教員33名及び政策医療等支援教員20名らより地域医療の支援に努めた。									

項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
(3)	地域保健の支援に関する具体的方策	A	0	B	2	C	0	D	0	II	
		年度計画どおり概ね順調に実施した。 県内各地でプライマリ・ケア講習会を実施するとともに附属病院において「がん看護実務研修」を開催するなど、地域保健の支援に努めた。									
		A	0	B	4	C	0	D	0		
(4)	産学官連携の推進に関する具体的方策	年度計画どおり概ね順調に実施した。 本学における産学連携可能な研究について、産学連携ホームページに公開するなど産学連携推進に努めた。								II	
		A	0	B	1	C	0	D	0		
(5)	地域貢献の評価に関する具体的方策	年度計画どおり概ね順調に実施した。 医療人育成・支援センターを20年4月1日付けで発足させ、医師や看護師等の医療人の育成及び地域への高度な医療の提供、地域医療への支援などによる地域への貢献を、法人の使命のひとつとして推進した。								II	
		A	0	B	2	C	2	D	0		
4	国際交流に関する目標を達成するための措置	年度計画を一部下回って実施した。								II	
		A	0	B	2	C	2	D	0		
(1)	留学生交流、その他諸外国の大学・研究機関等との教育研究上の交流に関する具体的方策	年度計画を一部下回って実施した。 中国武漢大学との国際学術交流協定の更新を行った。また、21年度から本学学生を武漢大学に派遣することとしたなど国際交流の推進に努めた。								II	知的財産管理活用オフィスで、在外研究を支援するため、海外研究制度を整備したことについて評価できる。
		A	0	B	2	C	2	D	0		

項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価		
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項	
5	大学附属病院に関する目標を達成するための措置	A	6	B	22	C	0	D	0	II		
	年度計画どおり順調に実施した。											
	(1) 1	良質な医療人の育成に関する具体的方策	A	2	B	1	C	0	D			0
年度計画どおり順調に実施した。専門看護師、認定看護師を講師とする教育プログラムを策定するなど専門的知識を生かした活用を推進した。												
(1) 2	高度で先進的な医療の研究・開発とEBMの推進に関する具体的方策	A	2	B	4	C	0	D	0	II	治験センターにおいて、他病院との連携による治験ネットワークにより、参加医療機関53機関で6試験を実施したことについて評価できる。	
	年度計画どおり順調に実施した。平成20年4月に改正された先進医療制度に対応すべく医療技術について関係科と調整を図るなど高度で先進的な医療の研究・開発に努めた。											
(2)	高度で先進的な良質な医療の提供に関する具体的方策	A	0	B	4	C	0	D	0	II	性差を考慮したきめ細かい診療提供を目的とし、女性専門外来の機能強化を図るため、平成20年12月に「性差医療センター」を開設したことについて評価できる。	
	年度計画どおり概ね順調に実施した。性差医療センターを12月に開設、外来科学療法センターを1月に移転開設、3月にはリハビリテーションセンターを新築改修するなど高度で先進的な医療の提供のため計画的な整備に努めた。											

項目別評価 総括表

公立大学法人福島県立医科大学

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価			
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項		
(3)	患者の安全管理と患者サービスの向上に関する具体的方策	A	1	B	7	C	0	D	0	II	医療連携・相談室を設置し、病病・病診連携と医療相談に関する業務を一体的に行ったこと、また、精神保健福祉士の資格を有する医療相談員を1名増員し、医療相談業務を強化したことについて評価できる。	
		<p>年度計画どおり順調に実施した。 「医療連携・相談室」を4月から設置し、病病・病診連携と医療相談に関する業務を一体的に行った。また臨床腫瘍センターの相談支援センターの充実を図るなど患者の安全管理と患者サービスの向上に努めた。</p>										
(4)	地域と連携に関する具体的方策	A	0	B	3	C	0	D	0	II	都道府県がん診療連携拠点病院として高度な医療提供等を行うとともに、「福島県がん診療連携協議会」を開催し、地域がん診療連携拠点病院と連携を図ったことについて評価できる。	
		<p>年度計画どおり概ね順調に実施した。 事前診療予約の迅速処理、受診報告はがきによる報告の徹底、退院調整カンファレンスを実施するなど病病・病診連携システムの充実を図った。</p>										
(5)	安定的かつ効率的な病院経営に関する具体的方策	A	1	B	3	C	0	D	0	II	附属病院の診療体制の連携強化を図るため、平成20年度に診療支援部を設置したことについて評価できる。	
		<p>年度計画どおり順調に実施した。 特定機能病院の機能強化を図るため、診療支援部を設置した。また一般病棟における看護師配置を7対1となるよう看護職員の採用を行うなど安定的かつ効率的な病院経営に努めた。</p>										

項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
第2	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	4	B	24	C	6	D	0	II	
		年度計画どおり概ね順調に実施した。									
1	運営体制の改善に関する目標を達成するための措置	A	1	B	6	C	0	D	0	II	
		年度計画どおり順調に実施した。									
(1)	効果的な組織運営に関する具体的方策	A	1	B	3	C	0	D	0	II	問題解決を図るための参与の職を新設したことについて評価できる。
		年度計画どおり順調に実施した。 理事長のリーダーシップを強化するため、理事長からの直接の指示による調査、調整を行い、各役員と連携しながら課題解決を図るための参与の職を新設し、理事長の補佐として効果を発揮した。また事務局（総務課）には、法人経営担当主幹を新たに設置するなど効果的な組織運営を推進した。									
(2)	全学的視点からの戦略的な学内資源配分に関する具体的方策	A	0	B	3	C	0	D	0	II	
		年度計画どおり概ね順調に実施した。 若手育成や先端的研究の発展を促進するために、科研費のメニューにない分野に対しても学内の研究者に公募し、研究資金を配分するなど効果的な資源配分に努めた。									

項目別評価 総括表

公立大学法人福島県立医科大学

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
2	教育研究組織の見直しに関する目標を達成するための措置	A	0	B	6	C	0	D	0	II	
		年度計画どおり概ね順調に実施した。									
(1)	教育研究組織の編成・見直しのシステムに関する具体的方策	A	0	B	6	C	0	D	0	II	教員評価結果を研究費の配分や任用等に反映させるインセンティブ制度のあり方について、企画室が検討を行ったことについて評価できる。
		年度計画どおり概ね順調に実施した。 企画室に自然科学講座教授選考のあり方についてのワーキンググループの設置するとともに病理部門再編ワーキンググループなどで組織再編の検討を行うなど教育研究組織の編成・見直しに努めた。									
3	教職員の人事の適正化に関する目標を達成するための措置	A	1	B	6	C	5	D	0	II	
		年度計画を概ね実施した。									
(1)	人材の確保に関する具体的方策	A	1	B	6	C	3	D	0	II	平成20年度から、一部の県派遣職員を除くほとんどの職員が法人職員へ移行したことに伴い、「公立大学法人福島県立医科大学職員人事異動方針」を作成したこと、また、平成21年度から、任期付教員の任期制度を導入するため、職員就業規則の一部改正を決定したことについて評価できる。
		年度計画どおり概ね順調に実施した。 平成20年度から一部の県派遣職員を除くほとんどの職員が法人職員へと移行したことに伴い、県とは異なる人事異動を行う必要があることから、公立大学法人福島県立医科大学職員人事異動方針（教員を除く）を作成するなど効果的、効率的な大学運営に努めた。									
(2)	非公務員型を生かした柔軟かつ多様な人事システムの構築に関する具体的方策	A	0	B	0	C	2	D	0	III	
		年度計画を下回って実施した。 教員評価に係る教員の業績に関し、必要な事項について審議する教員評価委員会を両学部を設置するなど評価体制の確立に努めた。									

項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
4	事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置	A	2	B	6	C	1	D	0	II	
		年度計画どおり概ね順調に実施した。									
(1)	事務組織の機能・編成の見直しに関する具体的方策	A	1	B	2	C	1	D	0	II	職員の勤務能率の発揮及び増進を目的として、「公立大学法人福島県立医科大学職員研修規程」を策定したことについて評価できる。
		年度計画どおり概ね順調に実施した。 事務組織再編後の効果の検証を行い、新たな課題対応として、会津統合病院（仮称）附属化、入学定員増に係る業務を担当する組織の充実を図った。									
(2)	事務等の効率化に関する具体的方策	A	1	B	4	C	0	D	0	II	
		年度計画どおり順調に実施した。 大学連携の一環として福島大学との共同購入を行うなど事務の効率化を推進した。									

項目別評価 総括表

公立大学法人福島県立医科大学

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
第3	財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	0	B	9	C	3	D	0	II	
		年度計画を一部下回って実施した。									
1	外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	A	0	B	3	C	2	D	0	II	近隣医療機関との治験ネットワーク等を活用しながら、受託研究や共同研究等の推進により、平成19年度を上回る外部資金(治験含む)を獲得したことについて評価できる。
		年度計画を一部下回って実施した。 科学研究費補助金の採択に携わった方や、採択率を向上させた実績を持つ他大学の関係者等を講師として「科学研究費補助金の申請に係る講演会」を3回開催するなど外部資金獲得についての体制整備に努めた。									
2	経費の節減に関する目標を達成するための措置	A	0	B	4	C	1	D	0	II	外部への委託化が可能な業務の洗い出し調査を行い、対象となる業務について平成21年度から委託化を図ることとしたこと、また、光熱水費の徹底した進行管理により経費節減を図ったことについて評価できる。
		年度計画を概ね実施した。 コピー用紙の削減、時間外消灯の徹底、酷暑期間中の軽装、重油代高騰に対応するボイラー熱源の転換等に取り組むなど経費の節減に努めた。									
3	資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置	A	0	B	2	C	0	D	0	II	職員駐車場を一部有料化したことについて評価できる。
		年度計画どおり概ね順調に実施した。 職員駐車場を一部有料化するとともに、施設配置見直し検討部会を開催し、施設の効率的配置について検討するなど資産の運用管理の改善に努めた。									

項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
第4	教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	0	B	10	C	1	D	0	II	
		年度計画を概ね実施した。									
1	自己点検・評価の実施に関する具体的方策	A	0	B	5	C	0	D	0	II	教員評価に関して必要な事項を審議するため、教員評価委員会要綱を策定し、両学部にて教員評価委員会を設置したこと、大学としての自己点検・評価の実施のための組織である評価室において、法人評価、認証評価に向けた取り組みを行い、専門部会を4回開催したことについて評価できる。
		年度計画どおり概ね順調に実施した。 法人評価については、法人内部組織である企画室において、年度計画の四半期ごとの実績を各部局から報告させるなど進行管理に努めた。 認証評価については、評価室の下に専門部会を設置し、「独立行政法人大学評価・学位授与機構」の大学評価基準に基づく担当部局の整理を行うなど点検に努めた。									
2	第三者評価の実施に関する具体的方策	A	0	B	2	C	0	D	0	II	
		年度計画どおり概ね順調に実施した。 本学が受審する認証評価機関「独立行政法人大学評価・学位授与機構」主催の説明会、研修会に対して、担当者を出席させるなど認証評価機関からの情報収集に努めた。									
3	評価結果の活用に関する具体的方策	A	0	B	3	C	1	D	0	II	教員のインセンティブのあり方について、企画室会議で他大学の先進事例を調べるなど検討を行い、平成21年度にベストティーチャー賞、獲得研究費賞の表彰を行うこととしたことについて評価できる。
		年度計画を概ね実施した。 両学部において、教員の教育力向上を目指した研修会を定期的に関催するなど教育組織の改善に努めた。									

項目別評価 総括表

公立大学法人福島県立医科大学

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
第5	教育及び研究並びに組織及び運営の状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	A	1	B	3	C	0	D	0	II	
		年度計画どおり順調に実施した。									
1	大学情報の積極的な公開・提供及び広報に関する具体的方策	A	1	B	3	C	0	D	0	II	全面リニューアルした大学ホームページを平成20年6月より公開し、対象者別入り口を設けるなど閲覧者が情報を得やすいよう構成を変更するとともに、情報を逐次更新するなど内容の充実を図ったことについて評価できる。
		年度計画どおり順調に実施した。ホームページの情報を随時更新するなど内容の充実を図るとともに、6月にホームページの全面リニューアルを行うなど大学情報の積極的な公開・提供に努めた。									
第6	その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置	A	0	B	9	C	0	D	0	II	
		年度計画どおり概ね順調に実施した。									
1	施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための具体的方策	A	0	B	3	C	0	D	0	II	
		年度計画どおり概ね順調に実施した。ユニバーサルデザインの考え方を取り入れて実施したりハビリテーションセンターの増改築工事を行うなど人に優しい施設整備に努めた。									
2	健康管理・安全管理に関する目標を達成するための措置	A	0	B	6	C	0	D	0	II	医療人育成・支援センターの臨床心理士の資格を持つ教員が、大学健康管理センター兼務となり、メンタルヘルスに関する相談業務を、平成21年度より行うこととしたことについて評価できる。
		年度計画どおり概ね順調に実施した。医療研修センター内に大学健康管理センターを整備するとともに、医療安全管理部、感染制御部と連携を図りながら、医療安全、感染対策の充実に努めた。									
第1～第6（計196項目）		A	23	B	155	C	18	D	0	II	

注1:自己評価の考え方

- A・・・年度計画を上回って実施している
- B・・・年度計画を予定どおりに実施している(達成度がおおむね90%以上)
- C・・・年度計画を下回って実施している(達成度がおおむね60%以上90%未満)
- D・・・年度計画を大幅に下回っている、または実施していない(達成度が60%未満)

注2:評価委員会の評価の考え方

- I・・・年度計画を十分に実施できている
- II・・・年度計画をおおむね実施できている
- III・・・年度計画を十分に実施できていない
- IV・・・年度計画を実施できていない